

「(親が) 自分の人生を楽しんでいますか？」

→世代間連鎖で起こる人生の問題に、終止符を打って

閉じた世界の宝さがし一緒に始めてみませんか？

みなさんは、ドラえもんがいたら、どんな道具をだしてほしいですか？

僕は、長い間「人とうまくコミュニケーションとれる道具」が欲しかったです。

と言いますのも、私は集団行動が苦手なコミュ障だからです。

実は私は、25歳の時から職場での人間関係がうまくいかなくなって

生きずらさ自覚して、対人恐怖症になりました。

ある日、ネクタイ締められなくなって、嘔吐して会社辞めました。

今、振り返ると、学校の授業、会社の仕事は私にとって拷問みたいなものでした。

「私はここで一体何をしているのだろう、なぜ今これをせねばならない？」

やってることの、意味や価値がわからなくなって、違和感いっぱいの時期を過ごしました。

とにかく、なんで？という疑問が多い、納得した意味を考えてしまう人でした。

やりたいことがわからない、自分がわからない、人間ってなんなんだ。

生きるってなんなんだ、人生って何なのか？

そんな、簡単に答えなんて出ない。正解なんてどこにもない。

違和感にはまり込んで、悶々していました。

点取り虫で頭でっかちな私は、いつの間にか本を通じて外の世界に正解を探し回っていました。

人とコミュニケーションが取れない、理解されなくて孤独で苦しい。

決して貧乏ではないし、家庭にも恵まれていたし、学生時代にいじめにあった経験もなかった友達も全くいないわけではなかった。

そんな私がなぜ「真綿で首を絞められるような苦惱観」にとらわれてしまったのか？さっぱりわかりませんでした。

とにかくいつの間にか、外部との接触を遮断しなければ違和感いっぱい自分を維持できない状態になっていつの間にか、転職浪人になっていました。

でも、この転職による外部遮断が自分の命を救う行為だとは、後で心理学を学んでわかりました。

純粹性、創造性、子供臭さ残ったまま大人になれない自分の魂が救われました。

人見知りで、社交辞令、集団行動、フォーマルな場所が苦手・・・。

そんな、人間関係から逃げ回って苦しいながらも何とか自分ごまかしながら生きていた当時すでに29歳になっていました。

「30までに結婚したい。」世間体を気にして、取り繕い癖にどっぷりつかっていました。

そう思って、逆療法的に無理して明るく振舞って婚活パーティーに行きまくりました。

カップリングパーティーの司会もやりましたし、当時は狂ったように、パートナー探しをしていました。

しかし自分を騙して生きているもんですから、苦しくて仕方ありませんでした。

2年ぐらいで、もうええわ！ってなりました。

ところが執着手放したら面白いもので・・・。

英語好きやったな～って思い出して、英語の社会人クラブに行ったら今の嫁さんに出会えました。

諦めて、もうええわ！ってなったら現れた嫁さん。

努力とか無理するのやめて、好きで楽しい方向に行く。

そしたら、何かが開けました。不思議でした。

しかしながら、一難去ってまた一難。

コミュニケーションが下手なことは変わっていませんから

何とか結婚はできたものの、最初の10年くらいは意見が合わずケンカばかりでした。

これまた違和感いっぱい。自分を騙し、騙しに生きていました。

そうこうするうち今度は息子が中学生になって不登校になりました。

頭真っ白。どうしたらいいかわからなくなっていた私たちは

息子のために一時休戦、協同協調することになりました。

今となっては、息子による親育て、夫婦育てだったんだなと思います。

挨拶もできないくらい、息子との間には距離感がありました。

今度は何とか、息子とコミュニケーションとれないか？

そう思っていたある日amazonでウクレレと出会いました。

「ビビット」ときた私は早速即効購入し、ウクレレ教室に通い自分がドハマリしてしまいました。

息子は、全く興味しめさず、我関せず。笑。

しかしこの時の体験が自身の「創作欲」に目覚めさせてくれて、人生ではじめて「生きてる感じ」がしました。

悩んでいたその当時、不登校から脱出するたった一つの方法という本の中に

「親が自分の人生を楽しんでいますか？」

という文言があり、心打たれました。

はじめて、私は人目を気にして、心配ばかりして世間体を取り繕って
今ここ自分を楽しんで生きていなかったことに気が付きました。

頭でっかちな私は、失敗を恐れて、完璧さを求めいつもうまくやろうと
人生を取り繕うということに疲弊していました。

うまくやるのやめて、下手なまま楽しもう。そう思うと

自分のオリジナルの歌を適当に創り始め、SNSで発表しだすと、創作欲が
満たされてめちゃくちゃ楽しいことに気が付きました。

今、SNSでお遊びを兼ねて、いろんな動画を創って遊んでいます。

視聴者数は、ほとんど0ですが、気にしていません。

なぜなら、それはまず自分が楽しいからやっているだけなのと、父親が僕
の中にいるようにいつか自分がこの世を去った後にも子供たちの中に私が
残ればいいなと思ってある意味「楽しい新しい終活」としてやっているか
らです。

それはさておき、当時の私は文章書いたり、お絵描したり、動画づくりに
休みの日を使うことに没頭していました。

それが功を奏したのかどうか？いまだにわかりませんが、息子もいつの間
にか20歳を超え、アルバイトながら自分で仕事を見つけて働き始めていま
した。

今考えると10年前の息子が別人のように明るくなり、今では家でギャグを
言って家族を笑わせてくれます。

その後、タロット占いに会い、聴くことによる心の再生効果に感銘を受ける出来事がありました。

ネットのタロット占いの講座で鑑定の相互練習がありました。

そのタロット講座は、ちょっと変わっていて有名な講師方が「運命は再設定できる」っておっしゃっていました。

「占い＝運命をあてるもの」という固定観念に縛られていた当時の私は、占いで人生が再設定できると聞いて、3ヶ月くらい意味が理解できませんでした。

占いはただの当てもんじゃない！データの集積分析ならAIでもできる。

人間しかできないことは何なのか？

そして、タロット占い師なんていっぱいいる。自分なりのタロットの使い方を創りたい！

コミュニケーションが苦手だった私が、ほしかったもの。

それは、人と仲良くなれる道具、それこそ、ドラえもんに出してほしかったのものです。

それが私が創ったコミュニケーション道具としての「聴き愛3人タロット」

タロットの学びをベースに自ら作り出した聴き愛3人タロットは、人間同士しかできない。

だから今、世代間連鎖に苦しみ、コミュニケーション力の不器用さに苦しむみなさんへ新しいコミュニケーションツールとしてご紹介したいのです。

なぜなら、人間は人間の認識世界にのみ存在することを学んだから。

負の人生を歩んできた当事者同士だからこそ、深く共感し分かり合う世界観。

あなたがこの世を去ったとしてもあなたの存在はあなたに関わってくれた人の認識の中には残る。

仏陀やキリストがいい例ですね。

現在、タロット占いをベースにした「聴き愛講座」シリーズを開発し実践しながら

「負の人生経験を宝物に変えて、こころ豊かに生きるため」の場創りをしています。

ところで、タロット占ってどんなイメージ持っていますか？

多くの人は、それ当たるの～？ってなりませんか？

私もそうなりました、疑ってました。2年前までは・・・。

でも興味をもって学んでみたら、イメージ変わりました。

受講生同士、相互鑑定練習していたら、コミュニケーションの手段に使える！と気が付いたから。コミュ障でも、人見知りでも、間にタロットを挟

むことでコミュニケーションが進み、こころの居場所ができる経験をしました。

対人恐怖症、家庭内不和、息子の不登校。

一見それは負の人生経験に思える。

しかしながら、タロットを学びだすと、解釈次第で、武器や宝物にできる事に気が付きました。

だから・・・。今までコンプレックスだった。

「人見知りなんです！息子が不登校だったんです！」っていう話は
今では僕の武器や宝物になっています。

例えば、死神カード、タワーの解釈。必ずしも悪い意味じゃないのです。
解釈の多様性が養われます。

タロット占いで相談が一番多いのはやはり人間関係です。そして
人間関係の大元は親子関係が大きく影響しています。

世代間連鎖って言葉聞かれたことがありますか？

この問題の根底には、「甘え」と「世間」という非常に文化的に根深い
原因があり、深掘すれば1日あっても足りないので、ここでは簡単に
日本には、「個人が無い」という衝撃的事実だけ申し上げておきます。

みなさんは、職場や身近な人間関係で引き起こる、同調圧力に苦しんでいませんか？

協調性と同調性の違いは判りますか？

詳しく知りたい方は、「世間学」でお調べください。

また「甘え」については、「正しい、甘えが心を癒す」又吉正治著をご参照ください。

最近では、親ガチャとか、毒親という言葉も一般的になり

不登校や引きこもりも、ある程度社会的に認知されるようになってきたと思います。

そう、昔より社会的な理解が深まったために、居場所ができたと言えます。

つまり言葉が創られたからです。

じゃ、言葉って何でしょうか？

実は言葉による認識解釈が現実や運命を左右しています。

タロット占いの勉強に入る前に紙芝居風に僕の人生の実話を交えて

「運命や現実、占い」の正体は何か？について講座では最初に説明致しますね。

タロットとウクレレと色鉛筆というツールを手に入れて「創作活動が好きなんだ」と気が付いた事から人生が変わった。

それに気づかせてくれた、息子の勇気ある不登校には感謝しています。

実は、父親も同じように会社員の傍ら四柱推命の占い師を長年やっていました。だから、もう他界しましたが、父親が今体の中に一緒要て応援してくれている感じがしています。読書や文章を書く力、スピリチュアルに興味があるなど明らかにお父さんの影響が僕の体にはしみこんでいます。

これは、世代間連鎖を語るうえで、大変重要な考えだと思っています。

世代間連鎖による人生の問題に終止符を打つ。

もし、今あなたの人生がうまくいっていないように思えるなら、それはあなたが悪いんじゃないってことをまず知ってください。

あなた自身の解釈やそれから創られる関係性が間違っているだけ。

人生は再設定できる！

この事実に触れた時、きっとあなたの人生は変わります。

当事者の皆さんと一緒にこの問題の正体に向き合って、人生が好転しますように願っています。

聴き愛アート研究家

いずたに まさひろ

聴き愛原論内容一部紹介

転機

点取り虫じゃ、さすがにもう無理。大学辞める。

25歳なんか違う！ 転職→読書

37歳なんか違う！ 結婚→読書ノート

49歳なんか違う！ 子育て、不登校。→ウクレレと色鉛筆

57歳→タロット占い100人コミュニティ

正体、原因

- 1.真綿で首が絞められる！ 違和感の正体。
- 2.儒教、修身、自責、恥の正体と甘えの理解。→教育の根底にあるもの
- 3.道徳観、常識、社会通念
- 4.世間とは魂の植民地＝外部規範の内在化する社会システム
- 5.西洋個人は神との関係

解決、脱出

- 1.理想が無い現実、人間観を変える完璧な人間も親もいない。
- 2.誰の頭の中の話見分ける→誰の猫か？ 同じ世界とは？
- 3.西洋の個人という意味からホロンへの意識→自分だけじゃなかったのね？

自我から自己へ、I→WEへ。何で繋がるの？

4.親もどうだった？当事者同志。世の中にたくさんいる。多数派の自分。

貧困国の子供たち、不登校のフリースクールの子供はなぜ元気になるか？

5.正解は自分の中から、自分を愛する事。自分軸、こころの安全基地を自己内に創る。

未来、運命、思考創作（想像→創造認識の海を泳ぐ）

1.言葉とはなにか？現実を創るものの正体。色即是空。

物理空間と情報の認識空間の違い→人間とは（あなたは）どこに存在するか？

私の中の、父と母と・・・。愛されることから愛せる人へ、感謝される人から感謝できる人へ

2.正解探し、専門家依存を止めて、自分軸当事者聴き愛。目の前の人
自分を映す鏡の一部になる。自分とはその総体。その社会的総体は何ですか？

あなたは何の一部ですか？家族？友達仲間？一緒に世界に一緒に生きている同志。

3.自分らしく生きるために必要なもの→結局何が欲しくて何を探していたんですか？

感謝の心が無ければ感謝できない。内面からのもの。感謝しろ、愛せと強いられても無理。

内向的な普段我慢、遠慮ばかりしている、「良い人」は酔っぱらったり、配偶者など

安心できる状況になると、しがみつき（甘えの発露、自我発現）を起こし

「愛せ！」「感謝しろ」「ほめろ」などの本性が出る→お互いがその場合共依存になる。